

兵團監督，從業員改打事件

其後一狀現二閩不一併（第二報）

標記、件ニ關ニテ、本月二十六日、兵獲勞秘、第一三四號既報、
如、改打者ノル監督下山英治、傷害罪ニ依、告訴セリト、
ガ一方、同監督、去ルニ十三日、同電車明石市終矣、勤務中從業
員組合顧問今吉一雄及被害者ノル駅掌事伊平並
組合員西浦貞雄、金山元平等四名ヨリ慰藉料（額ハ
明言セズ）並被害者及組合、對スル謝罪狀提出シテ、其
セラレタルノミナラス不來執拗三辞職、勸告ヲ強ヒラル、等全被
等、言動ニ堪エル能ハストテ去ルニ至リ、弁護士堀上典作
ラ代理トシテ前記四名ヲ被告トシ所轄林田警察署署
理囁、告訴ヲ提起シタルヲ次テ目下關係者ニ付取調中

右及申(通)報候也

(79)

嘉慶丙午年正月廿二日
新嘉坡市總理司打羅
新嘉坡市總理司打羅

後漢書、通鑑卷二十一、世祖本紀二三、
太陽傳七

9.28
第526号

三
四

監督局何材鶴等一案所欠=時之公權不公正少古
耕作及運動協議之九月一日終事監會之所有
向郵車之案、產物年例革之運動等事、古田政府
耕肉之元之年案、二十二日古田

故志田道御年長及二哥安平年某一丙辰廿二年正月廿四日
時休憩時子中之孫向之連號牛老者車賣金印三件大
丙子耕牛一隻木書，提出天子之御印以示之。